

公開シンポジウム

男もつらいよ!

～ 男性更年期障害と自殺問題を考える ～



パネリスト

石蔵 文信 (大阪大学医学系研究科)

伊藤 公雄 (京都大学文学研究科)

大村 英昭 (関西学院大学社会学部)

司会 山中浩司 (大阪大学人間科学研究科)

主催 大阪大学医療人文学研究会
共催 医療社会学研究会 大阪大学グローバル COE プログラム「コンフリクトの人文学」
日時 10月19日(日)午後2時～
会場 大阪大学中之島センター7階セミナー室
〒530-0005 大阪市北区中之島 4-3-53 TEL 06-6444-2100
問合先 yamanaka@hus.osaka-u.ac.jp (山中浩司)

公開シンポジウム

「男もつらいよー男性更年期障害と自殺問題を考える」

主催： 大阪大学医療人文学研究会
共催： 医療社会学研究会
大阪大学グローバル COE プログラム「コンフリクトの人文学」
日時： 2008 年 10 月 19 日（日） 午後2時
場所： 大阪大学中之島センター7階セミナー室
〒530-0005
大阪市北区中之島 4-3-53
TEL 06-6444-2100

パネリスト紹介（五十音順）：
石蔵文信（大阪大学大学院医学系研究科准教授）
循環器科専門医
メディカルアーバンクリニック天満で男性更年期障害外来を担当
「一般医 - 精神科医ネットワーク（G-P ネット）」を立ち上げ、自殺予防のための活動を行っている
著書に『男もつらいよ！ー男性更年期』（ソシム 2007 年）
『パンツの中の健康』（双葉社 2004 年）
『巨人性うつと阪神不安』（双葉社 2003 年）など

伊藤公雄（京都大学大学院文学研究科教授）
社会学者
男性学のパイオニア
「男らしさ」が社会にとって重要な問題となることを 1980 年代から主張し、男性学を開拓する
著書に『＜男らしさ＞のゆくえー男性文化の社会学』（新曜社 1993 年）
『男性学入門』（作品社 1996 年）
『「できない男」から「できる男」へ』（小学館 2002 年）など

大村英昭（関西学院大学社会学部教授・大阪大学名誉教授）
社会学者・宗教学者
非行問題とラベリング、「しずめ」の社会学で著名
社会学と宗教学の立場から、現代社会の病理を看破する
著書に『臨床仏教学のすすめ』（世界思想社 2002 年）
『日本人の心の習慣ー鎮めの文化論』（NHK ライブラリー 1997 年）
『非行のリアリティー「普通」の男子の生きづらさ』（世界思想社 2002 年）

司会：山中浩司（大阪大学人間科学研究科准教授）

